



人類に
奉仕する
ロータリー

帯広西ロータリークラブ 第2173回例会 2017.3.9 会報



■RI第2500地区テーマ■

ロータリーのあしたのために、
積極的に行動しよう



■クラブ・テーマ■

ロータリーを分かち合おう

ビジター紹介

帯広ロータリークラブ出席委員会
及川ゆかり様 伊藤秀敏様

古田敦則 会長



は、生涯現役であることが可能なロータリーという存在も、私たちの第2のキャリアを形づくるものとして有用な手段になりうるのではないのでしょうか。是非皆様もそうした視点でロータリーを見つめなおしていただきたいと思います。

会長報告

来週の例会は帯広ロータリークラブ・広尾ロータリークラブの共催によるIMになります。本年度は「職業奉仕」テーマに執り行われます。皆様には全員登録にご協力をいただいておりますが、一人でも多くの方々にご出席いただきますようお願いいたします。

古田敦則 会長



さて、千葉県に市川学園という中学高校を運営する学校法人があります。地元では有名な私立の進学校でしたが、少子化や新興進学校の台頭で近年低迷が続いていました。しかし、その学校がある人物の改革により、毎年東大に二ケタの合格者を出し、早慶にはそれぞれ100名を超える合格者を出すまでに復活し、以前の輝きを取り戻しつつあるという記事が出ていました。その人物というのがかつて東芝の副社長を務めた古賀正一氏という方です。実はその学校は彼の父親が経営する学校でしたが、彼はその道を選択せず、東大卒業後東芝でのサラリーマンの道を選びました。65歳で退職し企業人としてのキャリアを全うしたのち、それまで他人にまかせていた学校経営に本格的に取り組みはじめました。彼は企業家としては当たり前だったノウハウを積極的に生かし様々な改革を行い、学園を立て直したそうです。彼のそうしたサクセスストーリーも無論興味深いものですが、私が何よりも心ひかれるのはインタビューの中での「自らの生涯の中で2つのキャリアをきわめられた事を何より誇りに思う」という言葉でした。過去のキャリアにとらわれず、しかしそこで培われた自らのスキルを生かし全く新たな事に挑戦する彼の姿は、超高齢化社会における私たちのこれからの生き方を示すものでもあると思います。60歳65歳という年齢を迎え、私たちが人生の転機を迎えるとき、それからの20年をどう生きるのかはそれぞれにとって重要な課題でもあると思います。その意味で

会務報告

谷脇正人 幹事

①帯広RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日時 3月15日(水)午後6時
場所 ホテル日航ノースランド帯広

②第6分区都市連合会(IM)開催のご案内

日時 3月18日(土)午後1時 受付登録
(1時30分～開会式)
午後5時45分 懇親会

場所 ホテル日航ノースランド帯広
講師 基調講演:第2500地区職業奉仕委員長



坂田 仁氏

特別講演:第2500地区パストガバナー

足立 功一氏

※尚、帯広南RC、3月13日(月)の繰下げ例会と致します。

帯広西RC、3月16日(木)の繰下げ例会と致します。

帯広北RC、3月17日(金)の繰下げ例会と致します。

帯広RC、3月22日(水)の繰上げ例会と致します。

帯広東RC、3月28日(火)の繰上げ例会と致します。

③帯広南RC、3月20日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広RC、3月29日(水)の例会は、休会と致します。

帯広西RC、3月30日(木)の例会は、休会と致します。

帯広北RC、3月31日(金)の例会は、休会と致します。

ニコニコ献金

披露 松本和彦 会員

古田 敦則 会長

来週はIMです。多くの方の出席をお願いいたします。

伊東 肇 委員長

本日担当例会です。宜しくお願い致します。

小野 辰夫 委員長

2月の創立記念例会ご出席ありがとうございました。

当日欠席となり申し訳ありませんでした。6月のスポーツ大会も宜しくお願い致します。



会長 古田 敦則
幹事 谷脇 正人

副会長 江口 文隆
副会長 山本 範之

会場監督理事 森 房明
プログラム委員理事 河合 敏

発行: 広報委員会
委員長 伊東 肇 (副) 辻田 茂生



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

林 文昭 会員

久しぶりに例会出席します。第1回の麻雀大会で優勝しました。

藤本 剛 会員

首の手術も無事終わり1ヶ月ほどお休みしましたが、以前より体調も良くなり4月からゴルフも再開できますので、今後とも、よろしくお願い致します。

佐々木和彦 会員

明日還暦です。

ニコニコ
献金

3月9日

13,000円

累計

520,041円 (3月10日現在)

◆プログラム

広報委員会



挨拶 伊東 肇 委員長

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、今日はフィールドデザイン代表の小川さんにお越し頂きました。小川さんは当社と一緒に仕事をする但也有りますが、デザイン関係の仕事を経験していらっっしゃいます。ただ、自転車を始めてからは、自転車に関して本業のごとく様々なことに取り組んでいます。私も一度「青い池」で有名になった白金温泉のトレイルに自転車を積んで一緒に乗りに行ったことがあります。

ここ数日間で当社電子版にも「サイクルツーリズム」に関する記事が2回掲載されました。この十勝において、観光のコンテンツとして注目が集まっています。その活動の代表がまさに小川さんです。自転車観光で地域振興に取り組んでいるところは瀬戸内しまなみ海道にある「サイクリングロード」が有名ですが、ここは地域を上げサイクリング関係のWebで情報提供を盛んに行っています。対象者として日本人のみならずインパウンドの海外旅行者も対象であるため、Webでの情報提供は必要不可欠となっております。今日は、十勝における「自転車」というコンテンツを今後も含めどのように発信していくことを考えているのか、など今後我々が考えなければいけないコンテンツもしくはストーリーを売る(=発信する)ことに対して参考になるお話を聞けるとと思います。よろしくお願い致します。



講演 「情報の伝え方」 フィールドデザイン 代表 小川 宣幸 様

フィールドデザインという事務所を運営していますが、コンセプトはあらゆるフィールドをデザインしようという思いから来ています。そのうち今日は3つの事業を中心にお話したいと思います。「クラブチーム運営」「ツーリズムデザイン」「サイクルカフェ」を自転車というものを核として有機的に行っています。



Tokachi Bicycle Projectは、クラブ運営を他クラブとのつながりもやっている。マナー向上など一人で意識しにくい部分を意識的に行っている。



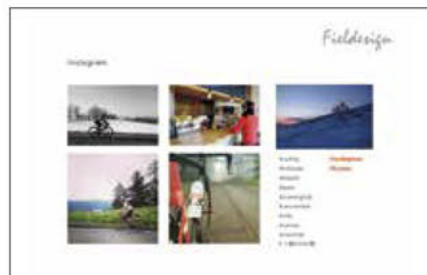
Tokachi Cycle Conciergeは、国内外の自転車関連ツアーのサポートを行っている。すでに海外だけでも複数回対応した。



Sakura Terraceは、自転車の情報は収集するのが難しく、それをこの場を通じ提供できる場としている。



情報発信に関しては、写真「Instagram」です。それは情報として加工する手間が殆どないからです。動画に関しては、「Vimeo」が支持されています。動画は表現力に関しては写真以上にあるのですが、編集やデータが重たいなど少しデメリットもあります。



写真はスマホなどで撮れば即発信できます。また、「ハッシュタグ(※“#”の印のこと)」をつければ、一気に検索される可能性が高まり、それが全世界に発信されます。1年間必ず1枚アップすることを継続しましたが、海外からの仕事の依頼など舞い込むようになりました。



Instagram経由で、海外に拡散し仕事を受注した事例です。自転車のジャージなどを生産している「Frontier」というメーカーからの依頼に関するものです。写真がとてもきれいなのでメーカープロダクトを使用し、十勝の風景を背景に写真を撮影し、SNSでアップしてほしいという依頼でした。先方のページにもリンクし使用されることにより大きく拡散することになりました。

ビデオ視聴：冬の「タウシュベツ川橋梁」までの自転車ライド動画を視聴

以上のように、十勝においては冬であっても、自転車は十分な観光資源になると思います。自転車に乗る人は十勝の何十キロメートルもまっすぐな道だけでも大きな価値を見出しています。本州にしろ、海外にしろ通常の自分の住むエリア以外に足を運ぶ場合、通常以上の付加価値が必要になりますが、十勝には十分に備わっていると思われます。それをうまくSNSなど活用し地道に継続して発信していくことが大切だと考えています。